



発行所 農経新報社
 編集発行人 本多芳彦
 本社 〒113-0033
 東京都文京区本郷1-35-28
 電話 03(3815)021180
 F A X 03(3815)0285
 支社 〒530-0001
 大阪府北区梅田1-11-4-1100
 電話 06(6341)102180
 F A X 06(6341)1023
 振替口座 00110-0-5752
 購読料 1ヵ年 15,250円

植物の免疫力向上

植物免疫活性化剤「LBS菜花」
 サンメアー
 病害虫に強い生育実現



(株)サンメアー(大阪市住吉区大領5-1-18)が発売する植物免疫活性化剤「LBS菜花(さいか)」が、植物が本来持っている

る免疫力を高めることで、根張りや活着を良くし、害虫や病原菌の発生を抑制するなど、有機農業や環境保全型農業に役立つ資材として注目を集めている。

有機農業や環境保全型農業に役立つLBS菜花

従来、植物の免疫力(自然治癒力)は、植物とその根圏内に生息する土壌微生物とのギブ&テイクの共棲関係によって

もたらされてきた。土壌微生物は、植物自身が分泌するブドウ糖を栄養として増殖し、植物は、微生物が分泌生産した免疫関連物質を取り込み蓄えて、自己保全を図っている。

しかし近年の農業は生産性を上げるため、化学肥料と農薬を多用し、土壌微生物を減らしている。その結果、植物の免疫力を低下させ、害虫やカビ等に対する抵抗

力を低下させ、一層農薬の多用に依存するといふ悪循環に陥っている。

同製品は、植物の免疫力を高めるため、土壌有用微生物(乳酸菌、納豆菌、酵母菌)に総合ミネラルを加えて、特殊な培養を施して生み出された植物免疫活性化剤。粉末状の同製品を希釈して施用することで、①

植物の生長を促進し、茎や根がしっかりとし、葉は常に青々とする②病害虫や病原菌を抑える③植物本来の姿・色・艶・香り・匂い・味を取り戻す④健やかに生長し、寒さ、日照りを気にしない⑤茎や葉の徒長を抑制する⑥開花の期間の延長や、野菜の日持ち効果がある⑦土壌の改良効果があり団塊が柔らかくなる⑧などの特徴をもつ。

使い方は、LBS菜花を1000倍(水1リットルにLBS菜花1g)〜4000倍に希釈、種子や苗、農作物に散布するだけ。例えば、トマト、ナス、キュウリなど果菜類では20〜30日の間隔で継続して2000倍希釈液を葉面散布する。